



●東日本大震災

2011年3月11日14時46分ごろ、三陸おきを震源とする、マグニチュード(M)9.0の地震が発生しました。

これは、日本国内観測史上最大規模、アメリカ地質調査所(USGS)の情報によれば1900年以降、世界でも4番目の規模の地震でした。

青森県でも三八上北地域の沿岸部に津波がしゅう来しました。

※出典：内閣府ホームページ「特集 東日本大震災」



かぶしま およ つなみ はちのへし しゅってん あおもりしんさい
蕪島に押し寄せる津波(八戸市) (出典：青森震災アーカイブ)



かわぐち ちくじゅうか ひがい ちよう しゅってん あおもりしんさい
川口地区住家被害(おいらせ町) (出典：青森震災アーカイブ)

宮城県石巻市の大川小学校では、想定外の大きさの津波が、学校や地区全体をおそい、みなさんと同い年の多くの児童たちがぎせいになりました。

また、岩手県釜石市の釜石東中学校では、過去に3度の大津波を経験していることから、津波からのひ難の仕方など、昔からの教訓や、日ごろのひ難訓練が生かされ、じん速なひ難によって津波からのがれることができました。

●西日本ごう雨

近年、西日本ごう雨など、数十年に一度といわれる記録的な大雨が多くなっています。洪水や土砂くずれなどで、広い地域で、たくさんのひ害が出ています。

私たちの住む地域でも、記録的な大雨が降る可能性があります。



みず ようす ていきょう おかやまけん
まちに水があふれる様子 (提供：岡山県)



さいち ふつきゅうさきょう ようす ていきょう ひろしまけんひろしまし
ひ災地での復旧作業の様子 (提供：広島県広島市)

さいがい お あ まえ せいかつ おお か
災害が起こると、これまで当たり前だった生活が大きく変わってしまいます。
 さいがい けいけん しょうがく せい さくぶん ず が み
災害を経験した小学生の作文や図画をしょうかいします。これらを見てどん
 き も いま じ ぶん かんが
な気持ちになったか、また、今、自分たちにできることを考えてみましょう。

ひがしに ほんだいしんさい けいけん じ どう さくぶん
東日本大震災を経験した児童の作文

ふ つう せい かつ しあわ
普通に生活できることの幸せ

がつ にち じ ぶん わたし きょうしつ がくねん せん せい ふ あん しん ばい
3月11日2時46分、私は教室にいた。学年はバラバラで、先生がいなくて不安や心配でいっぱい
 ひ なんくんれん お つ こうてい ひ なん そと ゆき ふ だ
だったが、すぐに避難訓練のとおり落ち着いて校庭に避難することができた。外は雪が降り出し、たく
 ひと な わたし ゆめ おも じ かん た
さんの人が泣いていた。私は、(きっと夢だ。こんなことあるわけない！)と思ったが、時間が経つにつれ、
 ほんとう じつ かん おそ
(本当なんだ・・・)と実感がわき、恐ろしくなってきた。

あと すぐに たいいくかん い どう つよ よしん なん ど き こわ どうきゅうせい ぜんいん
その後、すぐに体育館に移動した。強い余震が何度も来て、とても怖かったが、同級生が全員いるだけ
 あんしん でん き つか たいへん
で安心できた。少し落ち着くと、たくさんの人が避難してきた。が、水も電気も使えないので大変だった。
 くら よしん つづ ぜん こう ぶん かえ わたし がっこう と うす ぐら なか
暗くなっても余震は続いた。全校の3分の2は帰ったが、私は学校に泊まることになり、薄暗い中、ご
 はん わ あ た
飯を分け合って食べた。

ご かい じょうほう わたし う おさな こ
その後、やっと入ってきたラジオからの情報に、私はショックを受けた。それは、幼い子をはじめたく
 ひと な あくむ み あたま なか ま しろ
さんの人が亡くなったというものだった。悪夢を見ているかのように、頭の中が真っ白になった。それと
 どう じ かえ とも だち か ぞく しん ばい あたま だいじょう ぶ だいじょう ぶ おも わる
同時に、帰った友達や家族のことが心配になった。頭では(大丈夫、きっと大丈夫。)と思っ
 う なみだ と
ていても、悪いことばかりが浮かび、涙が止まらなかった。

よく じつ わたし いえ かえ いえ きょうりょく もと せい かつ もと
翌日、私はようやく家に帰ることができた。家では、みんなが協力して、元のおりの生活に戻そうと
 わたし か ぞく て つた わたし すう じつ かん でん き みず つか ひ び つづ
していた。私も家族のためにたくさん手伝いをした。数日間、電気や水、ガスが使えない日々が続
 くろう あじ あいだ か ぞく あた た きずな あら た かん
きまでない苦労を味わったが、その間、ずっと家族の温かさやありがたさ、絆を改めて感じていた。

なが はる やす お ひさ がっこう とも だち あ ひ みじか じ かん じ しん ご いちばん たの
長い春休みが終わり、久しぶりに学校で友達と会った。その日は短い時間だったが、地震後で一番楽し
 じ かん ふ だん せい かつ もと き
い時間だった。やっと普段の生活に戻ったような気がした。

あと せい かいじゅう ひ と し えん ぶつ し はげ こと ば とど ほん とう ひ と せ さ いっしょう
その後は、世界中の人から支援物資や励ましの言葉が届いた。本当にたくさんの人に支えられて、一小
 ふつきゅう わたし おも ほん とう かん しゃ き も
は復旧したんだと私は思う。本当に感謝の気持ちでいっぱいになった。

わたし しん さい とお とも だち たい せつ ひ なんくんれん たい せつ まな なか とく
私は、震災を通して友達の大切さ、避難訓練の大切さなど、たくさんのことを学んだ。その中でも特に
 いのち たい せつ ふ つう せい かつ しあわ かん しん さい まな わす じん せい
命の大切さ、普通に生活できることの幸せを感じた。この震災で学んだことを忘れずに、これからの人生
 やく だ おも
に役立てていきたいと思う。

だいいちしょうがっこう
 ※第一小学校のこと。

しゅってん しおがまし きょうい く いん かい いん しゅう ひがしに ほんだいしんさい たいけん
 出典：塩竈市教育委員会編集 東日本大震災を体験して



コメント欄

確認日

(月 日)



ひがしに ほんだいしんさい けいけん じ どう し
東日本大震災を経験した児童の詩

と けい と
ぼくの時計が止まってしまった

しゃしん
 写真にうつっていた

つ なみ
 津波のあとの

しょうがっ こう と けい
 小学校にあった止まった時計。

と けい
 ぼくにも時計がある。

あたま なか と けい
 それは、ぼくの頭の中の時計、

からだ なか と けい
 ぼくの体の中の時計。

と けい
 そのぼくの時計が、

ひ と
 あの日、止まった。

しゃしん と けい
 まるであの写真の時計のように。

ひ き じ かん
 あの日が来てしまうまでの時間、

ひ じ かん
 それと、あの日のあとの時間。

おな じ かん す
 同じ時間が過ぎゆくはずなんだけど、

まえ
 やっぱり前とはちょっとちがう。

いま まえ
 今まであたり前だったことができなくなった。

みず てん き がっ こう
 水が、電気が、学校が。

いま ぜん ぶ まえ
 今までは全部、あたり前だったのに。

まえ せい かつ
 あたり前の生活が

まえ じ かん なか
 あたり前の時間の中で

まわっていたのに。

いま
 今までふつうだったことが

ふつうじゃなくなった。

せい かつ がっ こう べんきょう
 ふつうの生活が、学校の勉強が、

いま
 今までよりも

なに
 何よりもうれしくなった。

いま と けい
 今、そういえば、ぼくの時計は、

うご だ
 また動き出している。

いま じ かん きざ
 今までとはちがう時間を刻みながら。

まえ
 あたり前のことが

まえ じ かん
 あたり前じゃなくなった時間を。

ふつうだったことがふつうじゃなく、

うれしく感じる時間を。

いま おも
 ところで今、ぼくは思う。

と けい
 このぼくの時計、

うご
 だれがまた動かしてくれたのだろう、

と。

ひと
 きっと、たくさんの人。

い
 だからぼくは言う。

みなさん、ありがとう。

と けい
 ぼくの止まってしまった時計を

うご
 動かしてくれて、

ほんとにありがとう。

みやぎけんひがしまつしまし
宮城県東松島市
 みやとしょうがっこうじどう さくひん
宮戸小学校児童の作品



ゆめ きぼう ねんご みやとじま
「夢と希望にあふれる10年後の宮戸島」

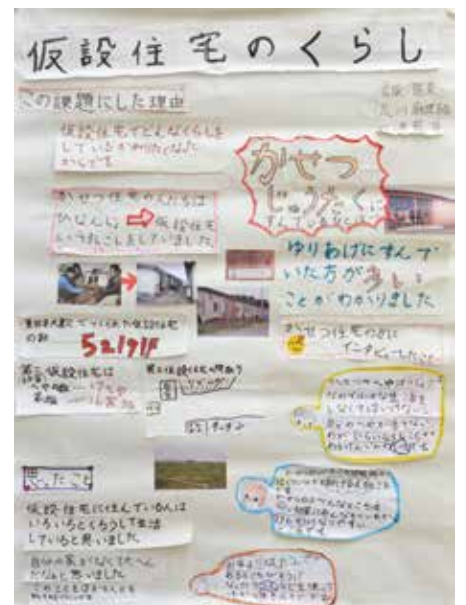
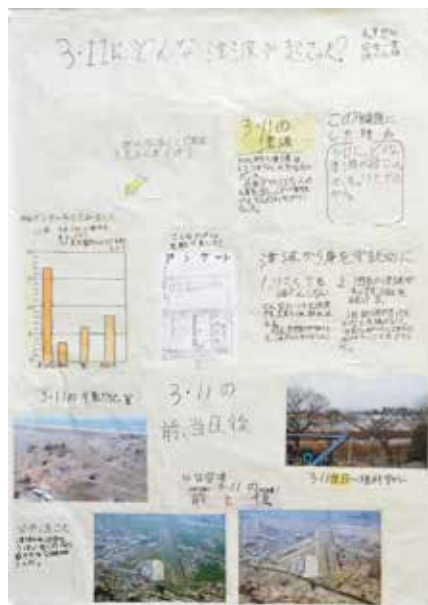
ひがしにほんだいしんさい みやとじま おお いえいえ はま つなみ なが しんさい ま みらい む
 東日本大震災で宮戸島は、多くの家々や浜が津波で流されました。この震災に負けず未来に向かって
 がんばるために、10年後の宮戸島の風景を全校児童29人、一人一人が画用紙に描きました。

ひとりひとり えが ねんご みやとじま え に ふうけい つく はな あ いた まい
 一人一人が描いた10年後の宮戸島の絵を、似た風景ごとにグループを作って話し合い、ベニヤ板4枚
 分の壁画にしたのがこの絵です。大きな壁画を作っていく活動は、私たち小学生にできる宮戸島復興の
 活動そのものだと思います。全校で絵を描いて、気持ちが一つになりました。絵も上手くいったし、
 これからも絵に込めた気持ちを忘れずにいたいです。

へいせい ねんとみやとしょうがっこう じどういちどう
 平成23年度宮戸小学校 児童一同

みやぎけん なとりし しもますだしょうがっこうじどう さくせい はっぴょうしりょう
宮城県名取市 下増田小学校児童が作成した発表資料

ひがしにほんだいしんさい しんさい けいけん じどう しら
 東日本大震災について、震災を経験した児童たちがさまざまなテーマについて調べ、まとめました。



しゅってん みやぎけんきょういくい いんかい ひがしにほんだいしんさい かが じどうせい など さくひんしゅう
 出典：宮城県教育委員会 東日本大震災に係る児童生徒等の作品集

**家族
 チェック**

コメント欄



確認日

(月 日)